

議事要旨

1. 会合名	金融経済教育を推進する研究会（第3期 第2回）
2. 日 時	平成30年3月25日（日）10:30～12:00
3. 議 案	1. 中学校教科書会社等への情報提供の状況について 2. 高等学校学習指導要領案への対応について 3. 高等学校教科書会社等向け情報提供について 4. 教員免許状更新講習の受講状況について
4. 主な内容	1. 中学校教科書会社等への情報提供の状況について 事務局から、①学習指導要領改訂のスケジュール、②本研究会の要望事項に対する中学校学習指導要領等への記述状況及び、③教科書会社等への情報提供の状況について報告があった。 2. 高等学校学習指導要領案への対応について 事務局から、文科省から公表された高等学校学習指導要領案のポイント及び当研究会から文科省が実施した同学習指導要領案のパブリックコメントに対して提出した意見の概要について報告があった。 3. 高等学校教科書会社等向け情報提供について 中学校教科書会社等への情報提供と同様に、当研究会において、高等学校の教科書会社等に対しても教科書等編纂のための参考資料を作成し、説明会を開催するなどして情報提供を行うこととした。 （主な意見等） ・中学校の教科書会社向けの参考資料は分かりやすいし、生徒への問いかけ事例など重要な要素も盛り込まれているので、高等学校向けも基本的にこの形式でよいと思う。 ・SDGsは国連加盟国がコミットした目標なので、これと絡めて金融経済教育を推し進める必要があるのではないか。 ・SDGsの視点も含め、投資は損得だけでなくことや、日本人に欠けている「人のために」という感覚を育てていくことが必要ではないか。 ・高校生には株式投資とFXや仮想通貨の取引との違いを認識し、ESG投資の観点から投資することが社会にもたらす効果などについて議論してもらうことが望ましい。 ・投資の意義など普遍性のあるものと仮想通貨やスマホ決済などタイムリーな話題を組み合わせるなどして、興味を持ってもらえるような情報提供の方法を考える必要があるのではないか。 ・主権者ということと金融経済教育の学習内容との関わりや、民法改正により成人年齢が18歳に下がり高校生でクレジットカードが使える状況になったときにどうするかといった点も含んでおく必要があると考える。 ・アクティブ・ラーニングでは、生徒への問いかけが大事なので、そのような事例を示してもらえると授業のイメージもしやすくなるし、多くの先生が興味をもつのではないか。 ・生徒への問いかけ事例について、例えば、「企業会計」であれば、コンプライアンスや情報開示といった、生徒が考えるときのヒントになるようなキーワードも示してはどうか。 ・社会科や公民科教育の学会で、本研究会の検討の成果を発表すれば、大学の教科教育の先生方の刺激にもなると思う。 ・教科連携の観点から、国・数・英など他教科の教科書会社に対する情報提供があってもよいのではないか。 4. 教員免許状更新講習の受講状況について 座長から、後程、配付資料をご覧いただきたいとの説明があった。

以 上